



国際ロータリー第 2670 地区

高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



Weekly Report 2015-2016

創立	1969年4月14日
承認	1969年4月23日
チャーターナイト	1969年11月9日
発行	IT・広報委員会

会長	古低	家敏	弘介
幹事	長事	田陽	介則
会長エレクト	ト鏡	原良	則憲
副幹事	村	上義	憲理
S.A.A	加藤	藤和	



今週のプログラム	第 2244 回	9 月 4 日
山田戒乗ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事・全会員	例会場
		J Rホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2243 回	8 月 28 日
フォーラム: 会員増強について		
担当者	会員増強委員会	例会場
		J Rホテルクレメント高松



古家会長報告



低田幹事報告



会員増強フォーラム: 佐野委員長



会員紹介者贈られるにブルーバッジ

会長報告

- ・曾我部会員、島谷会員へブルーバッジを贈呈。
- ・堀井会員へ長子誕生祝。

幹事報告

- ・香川ダルクのフォーラムのご案内、麻薬・覚醒剤乱用防止運動の実施についてのご案内が届いています。
- ・次週は山田ガバナーの公式訪問です。
 - ・お出迎えをするため、少し早め18時15分にはお越しください。
 - ・服装はクールビズで結構ですが、当クラブのブレザー着用をお願いします。
 - ・例会後、集合写真を撮りますので、早退はできれば控えてください。

ビジター

高松南RC 田中 弘之 様
高松北RC 安岡 美帆 様

例会報告 会長、幹事 司会(副幹事 村上)

- ・多田雑誌委員長より
ロータリーの友が届いています。興味深い記事もありますのでご覧ください。
- ・堀井社会福祉委員長より
香川ダルクのフォーラムのピラ配りがありますので、ご参加ください。
- ・会員増強退会防止委員会 佐野副委員長より
フォーラムとはそもそも「公共の広場」という意味があり、討論会の場合である。会員が増えることによりクラブの活性化に繋がることは明確であり、どのようにすれば会員増強ができるか、各テーブルで8分間討論してください。
～各テーブル6人の代表による討論結果の発表～

メイクアップ

- 8月 2日 日本ロータリーEクラブ 豊嶋
- 8月13日 日本ロータリーEクラブ 豊嶋
- 8月14日 さぬきRC 藤田
- 8月26日 高松南RC 江島 松下(浩) 野口 池上 泉 小竹 伊藤

9月4日 今日は何の日	今日生まれの有名人
くしの日・敦賀気比長祭・名刺まつり(京都ゑびす神社)	1980年 島谷ひとみ 1936年 梶原一騎
1943年 上野動物園で空襲に備え動物を薬殺	1964年 荻野目慶子 1930年 藤岡琢也
1951年 サンフランシスコ講和会議開催	1951年 小林薫 1913年 丹下健三
誕生花	ヤリゲイトウ、花言葉は“個性”
誕生石	アレキサンドライト(alexandrite)、宝石言葉は“秘めた想い”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日: 毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバトリーダーが必要です)

<http://www.88club.com/rc/2014pdf/09-04.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

9月誕生日の樹

- 3日 松下 浩 幸 会員 アオギリ(青桐)
- 4日 藤田 俊 和 会員 ハナイカダ(花筏)
- 7日 池上 晴 英 会員 ナツメ(夏芽)
- 12日 村上 義 憲 会員 シンジュ(神樹)
- 20日 横山 明 世 会員 オニグルミ(鬼胡桃)



記念樹 - 記念日と誕生日365日の+1の樹 - 財団法人経済調査会発行より

ニコニコBOX

- 入会させていただきありがとうございます。 岡田(和)
- 会員増強クラブフォーラムにご協力をいただきありがとうございます。 佐野
- 水曜会遠征2日目優勝しました。 鏡原
- 五木会おつかれさまでした。横山様お世話になりました。 花苑
- ブルーのロータリーバッジを頂きました。 島谷
- JR北海道乗りつぶし完了。 加藤
- メンバー紹介のバッジを頂きました。 曾我部
- 堀井先生お世話になりありがとうございます。 大西
- 植田さんありがとうございます。 大西
- 木内さんありがとうございます。 泉
- 花苑さんお世話になりました。 磯崎
- 最近欠席してましてすみません。 石井
- 遅刻 2件
- 早退 1件

合計 15 件

本日の合計 43,000円

2015-2016年度累計 326,000円

例会変更

- 9月 8日(火) 観音寺RCは18:30観月夜間例会に変更
- 9月10日(木) 観音寺RCは9月10日(木)18:30はやしやに変更
- 9月17日(木) 高松グリーンRCは9月26日(土)9:00サンポート高松・てんとう虫ミニマラソンに変更
- 9月17日(木) 丸亀RC18:30夜間例会・観月会 懐風亭に変更
- 9月22日(火) 坂出RCは休会

出席報告

出席委員長: 鈴木雅博

会員数 /	50名	出席規準数 /	48名
出席者数 /	31名	欠席者数 /	17名
出席率 /	64.58%	ビジター /	2名
最終出席率 /	8月7日	58.33% →	79.17%

第2670地区ガバナー方針



心あたたまる、お接待をしよう

国際ロータリー第2670地区
2015-2016年度ガバナー
山田 戒乗

K.R.ラビンドランRI会長のテーマ
『Be a gift to the world』

K.R.ラビンドラン会長RI会長はスリランカの人、インド系の教養を持つ人です。会長指針のように人生のとらえ方のスパンは長い。『Be a gift to the world』が、『世界へのプレゼントになろう』と訳されました。いつの間にかギフトがプレゼントになっています。英語の達人に聞くとプレゼントはパーティなどで交換するとき、ギフトは神から与えられた才能、見返りを求めない貢献(途上国など)に使うそうです。この日本語訳は難しいと思いました。

ラビ会長は「Be a gift to the world」というテーマを考えているとき、ヒンズー教を通じて私が学んだことのある教訓を思い出しました。

非常に貧しい少年スダマは神の化身として王家に生まれたクリシュナの親友でした。二人の少年は成長するにつれ少しずつ疎遠になりました。クリシュナは軍を率いる名高き王となり、一方村人スダマは貧しい生活をおくっていました。何年か経って、スダマが困窮し子供に食事を与えることもできなくなりました。妻は「幼い頃親友だったクリシュナに助けを求めよう」といいます。最初は躊躇していたスダマもしまいに同意し、手ぶらでは申しわけないと、明日子供に食べさせるくず米を布に包んで持って行きました。

スダマを見たクリシュナは大喜びし親切に愛情を持って迎えました。その高貴な生活ぶりに圧倒されたスダマは恥ずかしく米をさしだすことができません。クリシュナは「何を隠しているの」とたずね、布を開いて中の米を喜んで食べました。数時間後かわらぬ友情に感激したスダマはクリシュナのもとから去りました。

帰路スダマは当初の目的を忘れたことに気づき、子供たちがお腹をすかせていることを思い出しました。しかし、自宅に着くとスダマが家を出たときとはうってかわって御殿のような家になっています。家の前には綺麗な服を着た家族が立ち、十分な食事をすましてスダマの帰りを今か々と待っていました。

神の化身クリシュナはスダマが自分のためにありったけの米をギフトに持ってきてくれたことを知っていました。クリシュナはスダマが必要なものをすべて与えたのです。

この教訓は受け手にとって大切なはその物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ心がこめられているかということです。

この話を聞いて私は「高野山の貧女の一灯」を思いました。高野山奥の院灯籠堂に立派な灯籠が三つあります。白川灯、昭和灯、貧女の一灯です。我々募金等いわれたとき貧女の一灯とつかいます。が、主人公お照が女の命である髪を切って売り誠意をこめ寄進したものです。長者の万灯と比較されます。長者の万灯と一緒にまつりました。突然疾風がありました。お照の灯だけは消えなかったのです。

次週のプログラム

第2245回

9月11日

フォーラム:ロータリー情報及び雑誌について

担当者:ロータリー情報委員会・雑誌委員会

例会場:JRホテルクレメント高松

また、平成2年渡印のおり、バナラシーで舟に乗って観光し、対岸に渡って沐浴しました。熱心なヒンズー教徒のパラモンのガイド、パンカジュー(蓮華の意)は「この聖なる水で沐浴すると一日ホカホカして調子いいよ。人々は何百kmも歩いてこの水を汲みに来る。そして保管しておき病気のとき飲むと良くなる。ただし、水を汲んできたらずすぐ近所に配らないとその功德はない」と。

ラビ会長のいいたいのは単にプレゼントの交換ではなく、誠意を込めて、それぞれが良くなるギフトだと思います。なんだか心のおくで東洋人は共感を持てることばのように思いました。

それなら四国では『お接待の心』とおきかえてのよろしいのではありませんか。2670地区の方針としては「心あたまるお接待を」とします。しかし、「お接待」といえば道ばたで何か品物をおくるイメージですが、ダライ・ラマ法王殿下は「人助けをするだけではいけない。人助けを通じもっとも大事なことは自分を向上させることだ」といわれました。自分を向上させることこそがロータリーのもっとも基本です。

「お接待のために」

I. ロータリーの原点に戻って

1. 職業奉仕を考えよう。

1905年ポール・ハリスによって創立されたロータリークラブは当初「親睦・互惠」のクラブでした。アサー・シェルドンの入会によって「He profits most who serves best」が提唱されました。1902年シェルドン ビジネススクールの教科書に出てくる語句です。

Profitとは総費用を超えて受けた余剰の価値で金銭的な意味に限定しています。百年前のアメリカは生き馬の目を抜く弱肉強食の商売でした。そこにサービスという概念を持ち込み、リピーターを増やし、顧客満足度高い経営方法です。これをロータリーにとり入れた結果百年続いたといえます。各クラブに田中毅PGの「シェルドンの森」という本をお配りします。各クラブ輪読会等で勉強してください。ハーブの「四つのテスト」その30年後大恐慌のときです。

2. 会員増強(それほど昔ではありません)

イ) 四国のロータリーの全盛時代は世が平成になり十年ぐらいまだが全盛ではなかったでしょうか。そのとき輝かしいメンバーがたくさんおられました。それから何かの原因(ご高齢、会社不振等々)で50人クラブが30人になってしまいました。私は徳島第一分区のガバナー補佐の体験を通じて思うには、そのときの栄光が実は壁になって会員増強と維持のためにロータリーのすばらしさの誇りとをメンバーの意識を後のものに伝えることが出来ないでいるように思えてなりません。ロータリーのすばらしさは内部にいと十分意識されていないのではありませんか。とにかく楽しい仲間を増やそうではありませんか。

ロ) 今日RCのピンをつけていますか。私は裁判所の調停委員20年ほどの間、調停委員バッジを用いず、ロータリーピンで過ごしました。裁判官が「それは何かね」聞くのでロータリーの特に四つのテストの話をしたものです。必ずロータリーピンをつけましょう。

ハ) ここ3~5年何人はいって何人やめていったか。その原因は何か、検証して見ましょう。

ニ) 中長期計画に「我がクラブは何人がもっとも適正か」議論する必要があります。

ホ) 危機感を持つ。少人数クラブの平均年齢は何歳か・・・

ヘ) 国家資格を持つロータリアン候補者を再度洗いだす。

例えば推奨ロータリークラブ細則には「有資格者」による監査がうたわれている。では皆さんのクラブに税理士、公認会計士はいますか？ 弁護士、社会保険労務士、土地家屋調査士、司法書士、薬剤師、看護師、柔道整復士、セラピスト、介護士等々枚挙にいとまありません。またタウンページにたくさんの職業があります。邪道ですが互惠も考えては？

ト) 衛星クラブという案もあります。

それにはローターアクターやロータリアンの子弟で結成するとよいのでは。パイロット事業としてやってみてはいかがでしょうか。

チ) 例会時間を考える。朝、昼、午後、夜にすることで参加がしやすくなります。

そうして今年目標は10%増を考えてください。

II. END POLIO NOW

1. 1980年に天然痘が根絶宣言をしたように私どもの世代にポリオを絶滅しようではありませんか。

RIの最重点施策は「ポリオ撲滅」です。とって、ポリオという病気をご存じでしょうか。団塊世代以後の日本人には見かけられない病気です。それは1961年、1960年に北海道での大流行があって当時の古井喜実厚生大臣が「責任はすべて私にある」と当時国交のなかったソ連と友好国カナダから生ワクチンを緊急輸入しました。それから絨毯作戦を重ね日本では過去の病気となっています。世界でポリオ撲滅を始めたのは麴町RCクラブの山田ツネさん、峰英二さんです。今ではパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの三国になっています(ナイジェリアはごくわずか)あと一息です。ラビ会長のお母さんもポリオであったことを初めて語りました。

ポリオの話ですでに財団の話になっています。

2. 「世界平和フェロー」の養成

RI財団はポリオを最重点ですが、「世界平和フェロー」の養成を行っています。日本では「国際基督教大学」内にセンターがあります。四国と遠い存在ですが、RID2670も応分の負担をしています。

3. DDF

我々の財団寄付が3年して半分かえってきます。その中から各クラブの社会奉仕へ振り分けられています。

若干名DDFの奨学生も出しています。

4. グローバル補助金

社会奉仕活動はグローバル補助金へハードルをあげてください。

5. ロータリーカードを作ってください。

(このカードを持てるのはロータリアンだけです)ご利用いただくご利用金額の0.3%と年会費の一部がポリオ撲滅の活動資金として自動的に充てられます。さらに、貯まったポイントでロータリー財団にご寄付いただくこともできます。

かくして財団寄付をお願いします。今年度財団寄付目標は、年次寄付150\$ (含エンドポリオ30\$)としてください。

III. ロータリー米山奨学会への寄付

米山奨学会は全部ロータリアンの寄付によっています。運用し、各地区の寄付額、留学生数によって配分されます。

特色は1) 世話クラブがあること

2) ロータリアンのカウンセラーがいること

3) 第一級の奨学金であることです。

米山奨学生は目に見えます。ご寄付をお願いします。

今年度の目標は、普通寄付6千円、特別寄付1万円です。お願いします。

IV. 奉仕活動

1. 青少年奉仕

地区の共同事業としては

イ) 青少年長期交換

小さな外交官として勉学はもちろん国際親善・国際理解に寄与するためのものです。世界各地のロータリアンに保護されています。

ロ) 青少年短期交換

ニュージャージーとの交換は36年間継続されています。RID2670が世界に誇る事業です。そのPRとホームステイ先をぜひお願いします。

ハ) インターアクト、ローターアクトを支援します。

ニ) ライラ

RID2680(兵庫)との共同事業で元368地区の面影を残す事業です。今年から5月になります。小豆島沖、与島で行います。

また、春休みには「少年少女キャンプ」があります。

ホ) 危機管理

地区、各クラブで行うすべての青少年事業にたいし、危機管理のことを十分にお考えください。怪我のみならずセクハラ、パワハラ、等々です。相手が危機というと危機なのです。

「RIJYEC」基金100円を200円にさせていただきます。

2. 国際奉仕

各クラブで世界社会奉仕が盛んになりました。グローバル補助金へ向かってください。

3. 社会奉仕

各クラブで伝統的な社会奉仕活動があることと思います。伝統ののっとり進めてください。しかし、長年続いたものを今一度振り返ってみるのも一考かと思えます。そのとき広報委員会と連携してPRをお忘れなく。

4. クラブ奉仕

親睦を中心とするクラブ奉仕によって楽しいクラブ作りは活気をうみ退会防止につながります。

IV. 奉仕活動

戦略計画委員会をつくって、中長期的な視野でクラブ運営を考えよう。クラブ研修リーダーの活用も一考です。

VI. 広報・IT

1. 広報委員会はまず、自らのクラブに知らしめること、次に地区内への広報(ガバナー月信をご利用ください)第三に外部に向いマスコミ・ソーシャルメディアへのPRをお願いします。

2. IT

ITを使わざるを得ません。すでに今年1月からMy RotaryをつかってRIへの報告が義務づけられ、人頭分担金の請求となりました。今日お集まりのロータリアンの皆様My Rotaryに登録されていますか。会長賞をエントリーするにはロータリーセントラルに記入し成熟度を記録しなければなりません。できればコンピューター持参の講習会も考えたいと思います

VII. 国際大会に出席を

次年度の国際大会は「ソウル」です。一番近い国です。この地区から300人出席を目標としています。

ロータリー用語

ガバナー公式訪問

Governor's Official Visit

ガバナー公式訪問は、ガバナー自身が地区内の各ロータリークラブを、個々のクラブまたは複数クラブのグループとして、以下のような目的をもって訪問するものである。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる
- ・弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに特別な関心を払う
- ・奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守していることを確認する
- ・顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する

ガバナーあるいはガバナー補佐は、公式訪問の際にクラブ目標への進展状況を確認すべきである。訪問は、ガバナー出席の効果が最も高まるよう、加盟認証状伝達式、入会式、新会員オリエンテーション・プログラム、表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事、都市連合会合などの行事とあわせて行うべきである。多クラブ合同、あるいは都市連合会合においては、ホストクラブに限らず、全参加クラブを挙げての出席を強調すべきである。ガバナーはまた、地区がクラブをより効果的に支援する方法について、クラブから意見を求めるべきである。

(ロータリー用語便覧より)

特別月間について(9月)

基本的教育と識字率の向上月間

Basic Education and Literacy Month

2014年10月RI理事会は、重点分野である「基本的教育と識字率の向上月間」である9月を、地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援し、地域社会の参加を促進、成人識字率の向上、教育における男女格差を減らすための活動、基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。

ロータリーの友月間

Rotary-no-tomo Month

ロータリーの地域雑誌として日本では「ロータリーの友」があります。このような地域雑誌は全世界で31あります。The Rotarian(機関雑誌)を含み総称はRotary World Magazine Pressと呼ぶ。

ロータリーの友月間は、従前の雑誌月間やロータリー理解推進月間がなくなったので日本独自に「ロータリーの友月間」が新設された。

facebook

facebookで情報や報告・たくさんの写真を公開しています。下記からご覧ください。

<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

